

2022年1月19日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン  
ANSELM WONG

**株式会社読売グループ本社（新聞各社40社の代表）及び東京機械製作所の労働組合に  
対する文書送付のお知らせ**

当社は、本日、株式会社読売グループ本社（新聞各社40社の代表）及び東京機械製作所の各労働組合（JAM 東京機械労働組合及びJAMKKS 労働組合）に対し、別紙のとおり各連絡書面（以下「本書面」といいます。）を送付しましたので、お知らせいたします。

新聞各社40社及び東京機械製作所の各労働組合は、従前、東京機械製作所に対する書簡の中で、当社らが東京機械製作所の株式を取得したことに関し、東京機械製作所のステークホルダーの利益や、労働者の皆様の雇用の維持や労働条件に重大な悪影響を及ぼすのではないかという御懸念があることを表明されておりました。

しかしながら、当社らといたしましては、このような御懸念はいずれも杞憂であり、当社らに対する誤解が生じているものと推察しておりますことから、当社らが東京機械製作所の株式取得に至った経緯や方針について御理解を深めていただくために、本書面を送付いたしました。

また、当社らが考える東京機械製作所の経営方針について、新聞各社の皆様、労働組合の皆様と実際にお会いして御説明させていただきたいと考えていることから、面談の機会を設けていただきますよう申入れをいたしました。

記

別紙資料について

- ・別紙1：株式会社読売グループ本社宛てに送付した2022年1月19日付け「御連絡」
- ・別紙2：JAM 東京機械労働組合宛てに送付した2022年1月19日付け「御連絡」
- ・別紙3：JAM KKS 労働組合宛てに送付した2022年1月19日付け「御連絡」

以上

2022年1月19日

〒100-8055  
東京都千代田区大手町一丁目7番1号  
株式会社読売新聞グループ本社  
代表取締役社長 山口 寿一 様

アジアインベストメントファンド株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウセン  
アジア開発キャピタル株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウセン



#### 御連絡

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当社は、株式会社東京機械製作所（以下「東京機械製作所」といいます。）の筆頭株主として、貴社に対し、以下のとおり連絡いたします。

貴社は、貴社を含む新聞各社40社（以下「貴社ら」といいます。）とともに、2021年9月10日付けで東京機械製作所宛てに送付した書簡において、当社らによる東京機械製作所の株式取得により、東京機械製作所の日常の業務運営や先行きに支障が生じるのではないかと御懸念を示され、新聞各社の日々の印刷・生産体制並びに中長期的な輪転機の整備・更新等の計画に支障が及ぶことを憂慮されておりました。

しかしながら、このような貴社らの御懸念は杞憂であり、貴社らには当社らに対する誤解が生じているのではないかと推察しております。

当社らは、東京機械製作所の輪転機事業に興味を持ち、海外の企業と比較をしたり、時間をかけて勉強する中で、東京機械製作所の株式の価値が低く評価されていると考え、2021年7月より本格的に東京機械製作所の株式を取得しました。

当社らは、東京機械製作所の株式取得を開始した当初から、同社の株式を長期的に保有することを念頭に、今後も東京機械製作所の輪転機の製造・販売・メンテナンスという主たる事業を継続していくことをお約束しており、現在もこの方針に何ら変更はありません。

現在、当社らと東京機械製作所の現経営陣との間には、同社の経営支配権をめぐる対立関係が生じております。すなわち、東京機械製作所の現経営陣は、筆頭株主である当社らとの

対話に消極的な態度を鮮明にしており、当社らは、東京機械製作所の現経営陣には真摯に株主からの意見を受け止めようという姿勢を到底見出すことができず、このまま東京機械製作所の現経営陣による利己的な経営を委ねたままでは、最早、経営改善の見込みが立たず、東京機械製作所の企業価値・株主価値を損なうこととなるという判断に至りました。

そこで、当社らは、今後、東京機械製作所の筆頭株主として、東京機械製作所の代表取締役に対し、株券等保有割合を 32.72%以下まで減少させた後速やかに、取締役の選解任等を目的事項とする臨時株主総会の招集請求をすることを決定しております。

当社らといたしましては、東京機械製作所の株主の皆様、東京機械製作所の現経営陣と当社らのいずれが東京機械製作所の企業価値・株主価値を向上することができるかの御判断を委ねたいと考えておりますが、東京機械製作所の経営権を取得した後も、東京機械製作所の輪転機事業に支障や混乱が生じないように対処してまいることをお約束いたしますので、御安心いただきたく存じます。

最後になりますが、当社らは、貴社らの御懸念を払拭させていただくために本書面をお送りさせていただきましたが、当社らが考える東京機械製作所の経営方針について、実際に貴社ら皆様とお会いして御説明させていただきたいと考えております。つきましては、当社らは、貴社らに対し、当社ら経営陣との面談の機会を設けていただきますよう申入れいたしますので、よろしく御検討くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

2022年1月19日

〒108-8375  
東京都港区三田三丁目11番36号  
三田日東ダイビル6階  
JAM 東京機械労働組合 御中

〒104-0054  
東京都中央区勝どき一丁目13番1号  
イヌイビル・カチドキ4階  
アジアインベストメントファンド株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウゼン  
アジア開発キャピタル株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウゼン



御連絡

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当社は、株式会社東京機械製作所（以下「東京機械製作所」といいます。）の筆頭株主として、JAM 東京機械労働組合（以下「貴組合」といいます。）に対し、以下のとおり連絡いたします。

当社は、東京機械製作所の輪転機事業に興味を持ち、海外の企業と比較をしたり、時間をかけて勉強する中で、東京機械製作所の株式の価値が低く評価されていると考え、2021年7月より本格的に東京機械製作所の株式を取得しました。

これに対して、貴組合は、同年9月3日付けの東京機械製作所宛ての書簡で、当社らの株式取得により、当社らが東京機械製作所の経営権を支配し、同社の中長期的な成長が無視され、自らの利益を追求するのではないかと、結果として、労働者の皆様の雇用の維持・労働条件にも多大な悪影響を与えるのではないかとという御不安があること、当社らによる行動が、東京機械製作所のステークホルダーの利益に重大な悪影響を及ぼすのではないかとという御懸念があると述べておられます。

しかしながら、貴組合が御不安・御懸念に思われているような事実はなく、いずれも当社

らに対する誤解から生じているものと考えております。

まず、当社らは、東京機械製作所の株式取得を開始した当初から、長期的に株式を保有することを念頭に、今後も東京機械製作所の輪転機の製造・販売・メンテナンスという主たる事業を継続していくことをお約束しており、現在もこの方針に何ら変更はありません。

また、当社らは、東京機械製作所の輪転機事業を将来にわたって維持・存続させていくこと、及び新規事業を展開していくにあたっては、技術力のある労働力確保は必須であると考えており、労働者の皆様についてリストラや希望退職者の募集等を行うべきという考えはございません。むしろ、当社らは、東京機械製作所の現経営陣が希望退職者を募集したこと、結果として61名もの従業員の皆様が退職になることに対しては、強く反対の意を表明しております。また、これ以上に、東京機械製作所において、人員削減や優良資産の切り売りを実施することについては慎重に見直しをしていただきたいと考えており、そのことを東京機械製作所の現経営陣に通知しております。

現在、当社らと東京機械製作所の現経営陣との間には、同社の経営支配権をめぐる対立関係が生じております。すなわち、東京機械製作所の現経営陣は、筆頭株主である当社らとの対話に消極的な態度を鮮明にしており、当社らは、東京機械製作所の現経営陣には真摯に株主からの意見を受け止めようという姿勢を到底見出すことができず、このまま東京機械製作所の現経営陣による利己的な経営を委ねたままでは、最早、経営改善の見込みが立たず、東京機械製作所の企業価値・株主価値を損なうこととなるという判断に至りました。

そこで、当社らは、今後、東京機械製作所の筆頭株主として、東京機械製作所の代表取締役に対し、株券等保有割合を32.72%以下まで減少させた後速やかに、取締役の選解任等を目的事項とする臨時株主総会の招集請求をすることを決定しております。

当社らといたしましては、東京機械製作所の株主の皆様、東京機械製作所の現経営陣と当社らのいずれが東京機械製作所の企業価値・株主価値を向上することができるかの御判断を委ねたいと考えておりますが、東京機械製作所の経営権を取得した後も、東京機械製作所の輪転機事業に支障や混乱が生じないように対処し、労働者の皆様の雇用及び労働条件の維持・向上に努めてまいることをお約束いたしますので、御安心いただきたく存じます。


最後になりますが、当社らは、貴組合の御懸念を払拭させていただくために本書面をお送りさせていただきましたが、当社らが考える東京機械製作所の経営方針について、実際に貴組合の皆様とお会いして御説明させていただきたいと考えております。つきましては、当社らは、貴組合に対し、面談の機会を設けていただきますよう申入れいたしますので、よろしく御検討くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

2022年1月19日

〒108-8375  
東京都港区三田三丁目 11 番 36 号  
三田日東ダイビル6階  
株式会社東京機械製作所内  
JAM KKS 労働組合 御中

〒104-0054  
東京都中央区勝どき一丁目 13 番 1 号  
イヌイビル・カチドキ4階  
アジアインベストメントファンド株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウセン  
アジア開発キャピタル株式会社  
代表取締役社長 アンセム ウォン シュウセン



#### 御連絡

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当社は、株式会社東京機械製作所（以下「東京機械製作所」といいます。）の筆頭株主として、JAM KKS 労働組合（以下「貴組合」といいます。）に対し、以下のとおり連絡いたします。

当社は、東京機械製作所の輪転機事業に興味を持ち、海外の企業と比較をしたり、時間をかけて勉強する中で、東京機械製作所の株式の価値が低く評価されていると考え、2021年7月より本格的に東京機械製作所の株式を取得しました。

これに対して、貴組合は、同年9月13日付けの東京機械製作所宛ての書簡「株式会社東京機械製作所株式の買集めに関する反対声明について」において、当社らの株式取得により、東京機械グループの一員である貴組合の労働者の皆様の雇用の維持・労働条件に甚大な悪影響を及ぼすのではないかと御不安や、東京機械製作所のステークホルダーの利益に重大な悪影響を及ぼすのではないかと御心配があると述べておられます。

しかしながら、貴組合が御不安・御心配に思われているような事実はなく、いずれも当社

らに対する誤解から生じているものと考えております。

まず、当社は、東京機械製作所の株式取得を開始した当初から、長期的に株式を保有することを念頭に、今後も東京機械製作所の輪転機の製造・販売・メンテナンスという主たる事業を継続していくことをお約束しており、現在もこの方針に何ら変更はありません。

また、当社は、東京機械製作所の輪転機事業を将来にわたって維持・存続させていくこと、及び新規事業を展開していくにあたっては、技術力のある労働力確保は必須であると考えており、労働者の皆様についてリストラや希望退職者の募集等を行うべきという考えはございません。むしろ、当社は、東京機械製作所の現経営陣が希望退職者を募集したこと、結果として61名もの従業員の皆様が退職になることに対しては、強く反対の意を表明しております。また、これ以上に、東京機械製作所において、人員削減や優良資産の切り売りを実施することについては慎重に見直しをしていただきたいと考えており、そのことを東京機械製作所の現経営陣に通知しております。

現在、当社と東京機械製作所の現経営陣との間には、同社の経営支配権をめぐる対立関係が生じております。すなわち、東京機械製作所の現経営陣は、筆頭株主である当社らとの対話に消極的な態度を鮮明にしており、当社は、東京機械製作所の現経営陣には真摯に株主からの意見を受け止めようという姿勢を到底見出すことができず、このまま東京機械製作所の現経営陣による利己的な経営を委ねたままでは、最早、経営改善の見込みが立たず、東京機械製作所の企業価値・株主価値を損なうこととなるという判断に至りました。

そこで、当社は、今後、東京機械製作所の筆頭株主として、東京機械製作所の代表取締役に対し、株券等保有割合を32.72%以下まで減少させた後速やかに、取締役の選解任等を目的事項とする臨時株主総会の招集請求をすることを決定しております。

当社らといたしましては、東京機械製作所の株主の皆様、東京機械製作所の現経営陣と当社らのいずれが東京機械製作所の企業価値・株主価値を向上することができるかの御判断を委ねたいと考えておりますが、東京機械製作所の経営権を取得した後も、東京機械製作所の輪転機事業に支障や混乱が生じないように対処し、労働者の皆様の雇用及び労働条件の維持・向上に努めてまいることをお約束いたしますので、御安心いただきたく存じます。

最後になりますが、当社は、貴組合の御懸念を払拭させていただくために本書面をお送りさせていただきましたが、当社らが考える東京機械製作所の経営方針について、実際に貴組合の皆様とお会いして御説明させていただきたいと考えております。つきましては、当社らは、貴組合に対し、面談の機会を設けていただきますよう申入れいたしますので、よろしく御検討くださいますようお願い申し上げます。

敬 具